



第443号

2024年 4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

教区設立100年後の課題

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

福音のひびき

4月の説教者

Table with 2 columns: Date and Preacher Name. Includes dates like 7日, 14日, 21日, 28日 and names like ジョセフ・シジョー, ファビアンヌ・ジョン, etc.

私たちの希望、

キリストの復活を生きる

教区司教 松浦悟郎

春の訪れと共に教会は復活祭を迎えました。国内では、元日に起こった能登半島地震、そして、世界ではガザにおける悲惨極まりない戦争、ウクライナをはじめ世界各地で続けられる紛争の中にあって、私たちがキリストの復活を祝うことはとても大切なことであり、意義深いことです。イエスは、最後の晩さんの終りに、やがて闇の時間が来るのを感じて不安に



思っている弟子たちに向かつて次のような希望の言葉を残しました。「あなたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私は既に世に勝っている」と。(ヨハネ 16:33) 復活徹夜祭で私たちは暗闇に復活のろうそくに火を灯し、その火が広がり、ついには復活の喜びへと広がっていく典礼を行いました。それは単なる儀式ではなく、この世

界のどんな闇も、キリストという光を消すことはできず、必ず光が闇を打ち払うことになるという「しるし」なのです。もちろん、それは私たちが無関係に神の行為として実現するのではなく、キリストは私たち一人ひとりの協力(神への自由な応え)を求めているのです。私たちの力の大小にかかわらず、キリストと共に働く意思とその一歩を捧げていきたいと思えます。 さて、皆さまの共同体では、新しい年度に入り、この一年の計画に従って歩みだしたことを思います。私は皆さまと共に、今続けている歩みを一層力強いものにしていきたくて考えています。「コロナの3年間」を経て、教会は弱まるのではないかと心配する声もあり、確かに現象としてその傾向もありますが、私はそれ以上に新しい動きが起こっていると感じています。小教区でもグループでも信仰を深め

能登地震被災者支援ボランティア募集始まる

2月19日の「のとセン」で、能登地震被災者支援ボランティアの募集が始まったこと、以下に原文のまま紹介していく。 さて、震災から1カ月半が過ぎましたが、先週2月15日(木)に七尾教会および隣接する聖母幼稚園の水道が復旧いたしました。まだ飲料としては控えるよう言われておりますが、わたしたちにとっても復旧にまず大きな一歩をふみ出したように感じています。まだまだ七尾市の全域復旧には2カ月以上かかると思いますので、継続して水の支援については続けていきたいと思えます。 また、七尾市の災害ボランティアセンターと連携を取りながら、こちらから求められている要請についても今後活動

# 2023年度 第3回宣教司牧評議会

2月4日(日)14時、カトリック布池教会地下ホールにおいて、松浦悟郎司教をはじめ計33名の出席があり、第3回宣教司評が松浦司教による祈りで開催された。

## 報告事項

1. 能登半島地震被害対策について

片岡義博神父より、毎週日曜、七尾教会にて被災者支援活動をしている。じんのび食堂(炊き出し)の活動と断水のための水補給をしている。

ERST辻氏より、ERSTの組織について説明がされ、能登には2名派遣されている。1月20日「のとサポーター」を開設したこと、ボランティアの受け入れはニーズの把握がまだできていないこと、幹線道路寸断のため困難が多い

ため、震災発生後1か月経って、検討会議を始めたばかりであると報告があった。その他の現地状況に加え、ボランティア受け入れの予定が示された。

司教からは、この災害を名古屋教区全体にかかわる被災ととらえ、教区として支援をしていくこと、1月末現在、全国から約6000万円を超え、支援金が教区に寄せられていること、名古屋教区の様々な修道会の協力が

があること、今後、さらに多くの方へ協力要請の意向が述べられた。

2. 「新成人と共に祝う『教区新年の集い』」については、当日は100名弱の参加者があり、新年ミサと新成人の祝福後、新成人と他の青年たちが教区センターで青年委員会主催の新成人の集いに参加した。

3. 2月の殉教者祭(金沢での高山右近記念ミサ)については、2月3日(土)に高山右近についてのビデオ鑑賞の後、松浦司教司式によるミサが行われ、約30名が参加した。

4. ダイヤモンド・金・銀祝のミサ等準備の進捗状況について、参加信徒数は予想がつかないの

で、例年のように、150名強の参加を考えて準備し、ミサ後に宣司評で茶話会をする予定が伝えられた。

5. その他

カトリック障害者連絡会(カ障連)全国大会について

1. 8月に行なわれる平和旬間について

社会福音化推進部・ジュード神父より、今年の8月11日(日)に行われる教区の平和旬間行事について、昨年同様、宣司評から案をもらい、準備にかかりたいとの意向を受けた。司教はこの件について、この会議で実行委員会を立ち上げ、実施するのも良いし、昨年と同様、テーマを決めて、社会福音化推進部に実行委員会として準備、実施をお願いすることもできると補足説明があった。

次回の宣教司牧評議会に決めなければならぬので、司教の提案で、各テーブルで、各ブロック内や各小教区で昨年、何をしたか意見交換をして、全体討議を行なった後、各テーブルから意見をもらい、様々な意見が出された後、実行委員会を社会福音化推進部に任せるとするかを挙手で決め、挙手多数で社会福音化推進部に依頼することとなった。しかし、何の提案もなく依頼するのは無責任という意見があり、平和旬間の意味を理解した上で、方向性を持たせるために、更に意見が出された。

3年ごとに開催されるカ障連の全国大会は、2026年に名古屋教区で行われることが決定された。例年、開催は秋頃だが、その年は愛知県を中

心にアジア大会、パラ大会がそれぞれ夏、秋に予定され、その時期を避けて日程調整を検討との報告があった。

## 審議事項

2016年に教皇フランシスコによって全世界に通達された「性虐待被害者のための祈りと償いの日」は、日本では司教団によって四旬節第二金曜日と定められた。名古屋教区では、当日(3月1日)に布池司教座聖堂で松浦悟郎司教と4人の司教によってミサが捧げられた。3月3日(日)にはカトリック平針教会(天白区)で大海明敏神父司式でミサが捧げられ、ミサ後「被害者の痛みを学ぶ会」が名古屋教区セクシャルハラスメント対応委員会によって行われた。

カトリック教会では教皇フランシスコが教皇と

なられてから、教会内での被害根絶を目指し、性虐待に対して毅然とした対応をとり続ける努力をしている。「すべての命

を守るために」被害者の話を聞き、聖職者の地位を剥奪するなど、教会組織がどれだけ本気でこの問題に取り組むかが今後のポイントになっていくのだろう。性犯罪は

被害者が長い間苦しみを抱えてしまった背景には、被害者の2次被害の影響も色濃く考えられる。被害者が、性犯罪は事実であるにも関わらず、周りから「あなたに

信徒共同体を傷つけるものだ。弱い立場に置かれている子どもたち、声をあげることの出来なかつた当時の未成年者、長い間誰にも言うことの出来ない苦しみを抱えておられた方の思いに向き合わなくては、教会は「世の光」とはなり得ないのである。

## 性虐待被害者の為の償いと祈りのじぶい

### 償いと祈りのじぶい

「私達には性加害の経験はないとしても、被害者はいかには、非常に重いものである。そうした、あやまった中立性を言うなら、PTSDを抱えた被害者の苦しみをさらに深まらざるを得ない。」加害者の正当性と被害者の落ち

度と言うことで『両成敗』という誘導をし、被害者の孤立をさらに深めて

「今日祈り求めたいと思う。(平針教会 多田めぐみ)」

と叱っておられます。私たち教会共同体も、家庭も、社会も、祈りによって結ばれているのです。それを忘れていたことを反省し、これから歩んでいく道を神様に祝福を願って進んでいきましよう。」教会共同体が、傷ついた人々の思いに寄り添う真の神の家族となるように。また、司教を誘惑から守り、生涯神のしもべであるための力が与えられ続けられるように、聖霊の助けを心から祈り求めたいと思う。

・教区ニュースは早川神父と広報部長の平田政信神父の都合により2月号は休刊との連絡をFAX等で知らせた。

・今年9月21日、22日2日間、名古屋の聖霊修道院ミッシンセンターで全国青年ネットワークミーティングが開催される。名古屋周辺に住む青年信徒への参加、ならびに青年委員会も人手不足のため、可能なら、スタッフとしての参加をお願いしたいとのこと。

・近々、郵便料金が値上がりするので、その対策として、議事録などはメール添付で送付したい。

## お知らせ

・教区ニュース担当の早川神父より、取材スタッフ不足で、各行事の主催者や関係者が記事をまとめ、それらを写真と共にメール添付で教区ニュース担当者まで送ってほしいとのこと。

・閉会の祈りと司教の祝福

・閉会



## 訃報

### 竹谷 基 神父 (神言修道会) 帰天

竹谷 基神父が2024年3月23日(土)に多治見修道院において帰天された。享年69歳。葬儀はカトリック多治見教会において、3月25日(月)12時より行われた。神父は1954年愛知県に生まれ、神言修道会に入会、1984年に司祭叙階。以降秋田教会など各地の教会で助任司祭、主任司祭を歴任された。また1990年から2002年まで名古屋市東区にある福信館専従スタッフとしても活躍された。



講演中の島園氏

### 第17回ホスピス聖霊講演会 『日本人と死生観への問い』

聖霊病院ホスピス聖霊講演会公開開催は4年ぶりであるが、新型コロナウイルス感染症がパンデミックと称され、余儀なく中止、その後はオンラインでの配信講演会となり、今回に至った。講師にNPO東京自由大学学長・東京大学名誉教授、島園進氏を迎えての講演会は人数制限をしたが、100名を超える一般の方々が参加、日ごろの講師のご活躍を感じる次第であった。

講師が、「死んだ人は、いない(不在)でしようか」というのが、今回のテーマです。と語り始めた。日本古来の死の概念やかたちを、近代・現代に至る日本人の思想史、柳田邦夫著・金子みすゞ著やホイヴェルス著などを交え語った。そして、質疑応答では「今は、20代の人でも死を考える。それは自死というもののや悲嘆、死、孤独感など。わたしの若いころには考えなかった。前に進む、わたしの名前が『進』というように...。けれど、

SNSやインスタなどが広がり、死を考えるようになってきて、良いことですよ」と話した。上智のグリーフケア研究所客員所員でもある講師の経験を含め、現代社会の中の生と死を目的の当りたりにしていることを教えられた。死んだ人は「不在」であっても、「生きている生者」は事実として存在し、「生きていた死者」はそれぞれの人の記憶の中に生きていて、それは、懐かしく繋がっている。写真や季節のしきたり、大切な贈り物などとともに生きてい

経験豊かな講師の講演を通して、日本の死生観を学ぶことができ、先祖、亡くなった大切な人々との繋がりが、この絆をこれからもつないでいきたいと思った。

この動画配信を行う予定にしている。配信元

### 「樹の会」 キャラバンで小教区訪問



津島愛西教会

名古屋教区の活動する女性団体「樹の会」では、教区の教会を訪問して会の紹介、会員募集、手作りの物産販売等のキャラバン活動をしている。コロナ禍の間は自粛していたが、今年から再開して1月21日の主日のミサに会員6人で津島愛西教会を訪問した。

あつたが、最寄りの駅の程近くに、木造の教会を見つけたことができた。早川努主任司祭をはじめ、教会の方たちが暖かく迎えてくれた。家庭的な雰囲気の中でミサに与り、「イエスに従うこと」で家族たちとの関わりが変わっていくという信仰に生きることの説教を聞いた。ミサ後、早川神父・女性信徒たちとお茶を飲みながら、短時間であったが歓談することもできた。「樹の会」の今後の活動に皆さんが、理解と共に期待していることを感じ、私たちは感謝と希望を抱いて雨の止んだ中を帰路に着いた。

当日はあいにくの雨ふりでの女性「樹の会」(名古屋教区カトリック) 松坂美幸

### 聖マリアに捧げる 祈りと音楽のひととき

3月2日(土)の午後、名古屋市東区にある主税町(ちからまち)記念聖堂において、「音楽と祈りの会」音楽を通して祈る」の主催により、「聖マリアに捧げる祈りと音楽のひととき」が開催された。これは四旬節にちなんで企画されたもので、光山相泰助祭および、オクテット主税町という8名の演奏家たち

が出演し、福音書の朗読と講話、そしてイエス様が処刑された十字架のもとにたえず聖母マリアの悲しみを歌ったベルゴレージの「スタバト・マター(悲しみの聖母)」の他、バッハの作品を演奏した。130名ほどの聴衆で会場は立ち見が出るほどの超満員であり、清冽で切々たる演奏によって外の寒さを感じさせぬ熱



気と真摯な祈りに満たされていた。また最後には光山助祭もフランクの「パニス・アンジェリクス(天使の糧)」の演奏に加わり、いっそうの盛り上がりを見せ閉会となった。このような有意義な宣教活動が、一つの小教区のみならず、名古屋教区全体にも広がって行くことを願ってやまない。(布池教会 石原立教)

### 「列福を願って記念ミサ」 福者ユスト高山右近殉教

福者ユスト高山右近殉教者の遺徳を偲び、聖人に列せられることを願う記念ミサが、2月3日、金沢教会聖堂で行われた。

ミサは名古屋教区の松浦悟郎司教と、石川、福井の司祭、合わせて8名の共同司式で行われた。司祭団入堂の後、松浦司教が聖堂に安置してある高山右近の聖遺物(生前着用していたと伝わる陣羽織の一部)への献香が行われた。ミサには信徒ら30名が集い、祈りを捧げた。

ミサに先立ち、日本司教協議会特別委員会が制作したDVD「列聖を目指して」を鑑賞した。また、ミサの後、信徒会館ロビーで茶話会が開かれ、松浦司教、各司祭、信徒が交流を深めた。

### 第一次人事異動のお知らせ

新しい年度に向けて人事異動がありますのでお知らせします。全員4月1日の異動となります。

- 異動司祭
\* 伴八郎神父(SVD)
\* ジョナサン・レイオリベロス・ピリアコルダ神父(SVD)
\* 城南フロック
\* 鳴海教会主任司祭
シユエ・ルイ・ジュン神父(CMF)
濃尾フロック
岐阜教会助任司祭
パウロ根田健二神父(MSC)
北陸フロック
福井教会助任司祭
ソソボタン・カロール・ヨハネス神父(MSC)
岐阜教会から
\* イグナシウス(インゼン)神父(SVD)は、司牧を含めた震災の支援協力司祭として神言会から派遣。居住は金

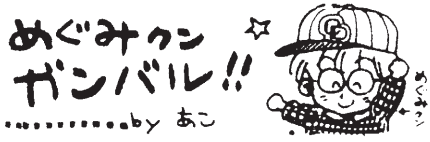
### カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画

【旧約聖書から学ぶキリスト教講座】—キリストの十字架の恵みをより味わうために—
日時 4月20日(土) 14:30~16:30
テーマ ヨシュア記の全体構造とメッセージ
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)
参加費無料、どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問い合わせ 日比野修道院 ☎052-671-1003
以降の予定: 5月18日(土)、6月22日(土)、7月20日(土)、9月21日(土)

### 春の中世古楽コンサート 中世ヨーロッパのマリア讃歌

12世紀を中心に、マリア崇敬の熱が高まり、人々は美しい言葉でマリアを讃え、その加護を求めて祈りました。
西欧諸国のみならず、アラブや東方アルメニアにも数多く遺されたマリアを讃える歌を、当時の楽器の音色とともに、教会の響きの中でお聴き下さい。
日時 4月21日(日) 13:30開演(13:00開場)
場所 カトリック東山教会 聖堂
名古屋千種区唐山町1丁目52
出演 Ensemble Viatger (ピアージュール)
中村会子(歌唱、シトル、プサルテリウム、中世ハープ、テイパーパイプ、フレームドラム)
藤川 星(ドウドック、シュヴィイ)
料金 一般3,000円 学生1,500円 小学生以下無料
(未就学児をお連れの方も歓迎) 全席自由
予約・問合せ
QRコードより予約ホームにご記入ください。
またはメール・電話でお問合せ下さい。
Eメール otoniwa.kogaku@gmail.com
☎070-6512-8182(中村)
主催 マリア讃歌演奏会実行委員会・音庭古楽
Otoniwakogaku.com





- (祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日
- 4月の教会暦**
- 7日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
  - 8日(月) 神のお告げ(祭)
  - 11日(木) 聖スタニスラオ司教殉教者(記)
  - 14日(日) 復活節第3主日
  - 21日(日) 復活節第4主日
  - 25日(木) 世界召命祈願の日
  - 28日(日) 復活節第5主日
  - 29日(月) 祝聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士(記)
- 5月の主な教会暦(主日・祭日など)**
- 5日(日) 復活節第6主日
  - 12日(日) 世界広報の日(献金)
  - 19日(日) 主の昇天(祭)
  - 26日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
- 教区行事予定 (\* 松浦司教)**
- 9日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会
  - 12日(金) 正義と平和委定例会
  - 13日(土) 典礼委員会コアミーティング/殉教者委定例会/信徒協役員会
  - 16日(火) カトリック看護協会例会
  - 17日(水) カリタス福祉委員会
  - 18日(木) 顧問会/月集\*
  - 20日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」

- 21日(日) 愛岐B会議
  - 24日(水) 能登視察\*
  - 25日(木) のとサポーター会議(金沢)\*
  - 28日(日) 東山教会献堂60周年記念ミサ\*
  - 29日(月) 祝殉教者祭(金沢卯辰山)\* / 殉教者委「浦上キリシタン流配者のためのミサ」/ 典礼委「典礼研修会」
  - 5日(日) 城東B会議/瑞浪教会堅信式\*
  - 10日(金) 正義と平和委定例会
  - 11日(土) 宣教司牧評議会運営委\*/ 典礼委員会コアミーティング/殉教者委定例会/信徒協役員会
  - 12日(日) インターナショナル・ミサ(南山教会)\* / 一粒会「委員総会」
  - 14日(火) 樹の会
  - 15日(水) カリタス福祉委員会
  - 18日(土) 樹の会総会/レジオ・マリエ「名古屋クリア」
  - 19日(日) 布池教会堅信式\*
  - 21日(火) カトリック看護協会例会
  - 23日(木) 顧問会/月集\*
  - 25日(土) 教区法人評議員会\*
  - 26日(日) 聖心布教会 司祭叙階式(城北橋教会)\*
  - 26日(日) 愛岐B兄弟の集い/五反城教会堅信式\*
- 教区行事以外の松浦司教予定**
- 4月 8日(月)~12日(金) アド・リミナ(ローマ)

### 世界広報の日・献金 復活節第6主日

福音宣教はわたしたちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、インターネットなどの広報媒体を用いる宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。

この日は、第二バチカン公会議で定められ、1967年以来、毎年教皇メッセージが出されています。



- ◇4月の炊き出し
- 木 4日 東山、11日 布池、18日 聖霊・南山・樹の会、25日 城北橋
  - 金 5日 喜望の会、12日 南山、19日 布池、26日 一宮
- 告知板**
- 19日(金) 終身助祭委員会
  - 26日(金) 社会司教委員会/デスク事務局会議
  - 5月 9日(木) 司教常任委員会/日本カトリック神学院開校式
  - 13日(月)~17日(金) 司教養成委員会研修のため フィリピン下見

665件 35,524,490円  
目標額 40,000,000円 (2月末現在)

**建設費の返済に協力を**

郵便振替 00810-5-50605  
加入者名 カトリック名古屋教区  
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

達成率 約88.3%

**カトリック信徒の「御言葉の分かち合い」チャンネル**  
~小教区での実践をめざして~

「今日の私」に語りかける主の御言葉を聞き、その分かち合いをすることは、信徒同士の信仰を深め、育てあう力になります。その一例として、ぜひご視聴ください!

番組QR

連絡先  
多田めぐみ ☎080-7447-9062  
Eメール yamanomoricecilia@gmail.com

**名古屋教区典礼研修会 みんなで典礼を歌う**

名古屋教区の典礼研修会、今回は私たちの典礼に欠かせない聖歌を学びます。でも、専門的な技術を鍛錬するというのではなく、ミサに集うみんなが積極的な行動参加がしやすくなるように聖歌の敷居を低くするのが狙いです。また、典礼の季節(待降節や復活節など)にあった歌の選び方など小教区共同体の典礼に生かせるヒントが見つかると思います。

日時 4月29日(月・昭和の日) 13:30~15:30 (13:00頃より受付開始)  
会場 南山教会 大聖堂  
講師 ヤコブ・ライチャーニ師 (SVD)  
参加費無料、事前申し込み不要。なるべく公共交通機関でおいでください。

**シノドスと霊的同伴と「祈りを深めるための研修会」**  
(瀬戸教会 攪上宏)

カトリック司教協議会「シノドスのための日本の教会の回答書」の中に、霊的同伴者の必要性が書かれています。これを読んだとき、霊的同伴者とは、それほど身近で大切なものなのだと、驚きと共に思いを新たにしました。それは、私が東京・上石神井のイエズス会において「霊的同伴者の養成研修会」に参加している最中でのことでした。

霊的同伴者とはどんなものなのでしょう? 私たちを導かれるのは神ご自身です。私たちは、その神からの導きに自らの心を響かせて大切に受け取り、実践へとつなげて行きます。しかし、その歩みはいつも順調という訳にはゆかず、だからこそ共に見つめ客観的に響きを感じ取り、一緒に歩む仲間が必要です。霊的同伴者にはこのような役割がありますが、こう思うと、私たちは互いに霊的同伴者としての役割を日々の生活で果たしている場面があるのかもしれない。だとしたら、なおの事、整えられたプログラムで学び、過不足なく備えておく事の大切さも実感しています。

3年間でプログラムされたこの霊的同伴者の養成研修会への参加も、この3月で最終回となり卒業です。研修終了後を思い、何か教区に役立つことができないうかと思いを巡らせていた時、友人からの連絡から一つの企画「祈りを深めるための研修会」に関わることになりました。

この研修会も東京・上石神井のイエズス会において開催されているもので、霊的同伴者の養成研修会とも関りが深く、その内容から、すべての人が招かれているように感じていました。それが、この4月から名古屋教区での開催が実現したのです。これは、シノドスの歩みの一歩にちがいないと感じ、喜んで関わっています。

名古屋教区にあっては、4月からの「祈りを深めるための研修会」がシノドス推進のエネルギーとなり、「ともに歩む教会」が表現される、一つのきっかけとなる事を願ってやみません。

**祈りを深めるための研修会**

神との交わりを深め、神のみ心を見出しながらキリスト者として成長するために、様々な祈りを学びます。実際に黙想を体験し、それを参加者同士で分かち合うことを通して、一步一步自分の祈りを確かなものとしていきます。

名古屋初開催のこの研修会は、東京のイエズス会無原罪聖母修道院(黙想)で霊性センター「せせらぎ」によって開催されている「祈りを深めるための研修会」と同じです。

会場 主税町記念聖堂(名古屋市東区主税町3丁目33) 高岳駅1番出口徒歩9分

日程と内容 (受付) 9:30、(プログラム) 10:00~16:00、(ミサ) 16:00~ [希望者]

- 第1回 2024年4月20日(土)「祈りとは」
- 第2回 2024年6月1日(土)「生活を素材に祈る」
- 第3回 2024年7月20日(土)「自然を素材に祈る」
- 第4回 2024年9月28日(土)「み言葉を素材に祈る」
- 第5回 2024年11月9日(土)「意識の究明」
- 第6回 2025年3月1日(土)「振り返りと祈りの同伴」

スタッフ 鈴木 隆 (イエズス会霊性センターせせらぎスタッフ)、他4名  
参加費 毎回2,000円です。各回ごとにお支払いください。  
対象 黙想によって日々の霊的生活を深めたいと願っている方。(カトリック信者に限りません)  
定員 25名 定員になり次第締め切ります。申込締切 各開催日の5日前  
問い合わせ先 担当/新谷・攪上 ☎050-5897-5106 メールは右のQRコードから  
主催 せせらぎ in 名古屋 協力 名古屋教区福音化養成委員会

**名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」第17回総会・講演会ご案内**

《総会》  
日時 5月18日(土) 13:30~14:15 (受付:13:00)  
場所 カトリック膳棚教会パウロ館 (名古屋市瑞穂区膳棚町1-26) (地下鉄桜通線 瑞穂運動場西下車 ①番出口徒歩数分)

《講演会》  
日時 5月18日(土) 14:30~15:30  
場所 カトリック膳棚教会パウロ館  
講師 山野聖嗣 (カトリック港教会)  
テーマ 「旧約聖書」  
連絡先 「樹の会」事務局 (090-7024-9626 金森)